



11月の学校行事(7) 修学旅行だより(5)

★2日目の日程★

- 6:00 起床
- 7:00 朝食
- 8:50~ ホテル発→**ガマ体験**
ACG組: 又又マチガマ
BF組: 系数壕
DI組: クラシンジョウ
EH組: 首里城→クラシンジョウ
- 12:00~ 昼食
- 13:15~ **体験学習**
☆万座ビーチ・マリン体験
(シュノーケリング・ドラゴンボート)
☆青の洞窟マリン体験
(シュノーケリング)
☆むら咲きむら
(ガラス・トンボ玉・シーサー作り体験)
☆もとぶ元気村
(イルカ・サターアツギ・紅型体験)
☆フォレストアドベンチャー体験
- 17:00~19:00 ホテル着
- 19:00 夕食 (バイキング形式)
- 20:00 部屋長会議
- 22:00 部屋ごとに点呼・健康チェック
- 23:30 消灯



令和元年度
沖縄修学旅行2日目(2)
ガマ体験
2019/11/10



ガマ体験時の様子です。系数アブチラガマを体験したB組の生徒たちは、NPO法人沖縄鍾乳洞協会理事の松永光雄さんの指示に従い、軍手・雨合羽・ヘルメットを着用して、ガマの中に入っていました。生徒たちは、暗闇の中で懐中電灯を使い「命の光」を照らし、ガマの中で平和学習を行いました。松永さんが語った「命(ぬち)どう宝(たから)」という言葉が生徒たちの心に響いたと思います。

クラシンジョウガマ体験 (I・H組担任写真提供)



ガマ入口付近 (帰路)



令和元年度
沖縄修学旅行2日目(1)
火災後の首里城見学
2019/11/10

修学旅行2日目の11月10日(日)は、朝食後に4コースに分かれて、ガマ体験に出かけました。E・H組は、ガマ体験前に火災後の首里城公園を訪れました。(H組担任写真提供)



守礼門の前で集合写真



首里城焼失跡



正殿へと続く門は閉ざされていました



説明に耳を傾けるI組の生徒たち



説明に耳を傾けるH組の生徒たち

※ガマとは、沖縄の方言で洞穴や窪みのことを言います。沖縄本島南中部はほとんどが隆起サンゴ礁でできており、数十万年にわたる雨の浸食によってできた自然の洞窟が各地にあります。沖縄戦では、この洞窟が住民の避難場所となり、日本軍の作戦陣地や野戦病院としても利用されました。戦争が激しくなると、ガマは軍民同居のかたちとなって米軍の攻撃的となり、多くの命が失われることになりました。(南城市発行「系数アブチラガマ」より抜粋)